

# つなげよう、支援の気持ち

## 【応急組立橋架設講習会】



中部地震津波対策  
技術センター  
中部技術事務所

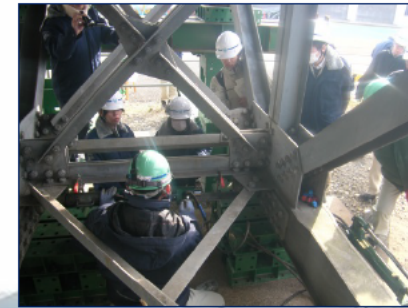
被災地への速やかな支援が行えるよう知識と技術の伝承を目的として、平成31年2月14・15日、中部地方整備局職員・協定業者を対象に中部技術事務所構内にて講習会を実施しました。



はじめに応急組立橋の概要や架設の留意点などを説明



協定業者 10名  
国交省職員 18名  
計28名の参加がありました。



中部技術事務所の応急組立橋は全部材組み立てると最長で【2車線+歩道で支間長40m】または【1車線のみで支間長80m】の橋となります。平成16年台風23号で被災した岐阜県飛騨市宮川町の国道360号で利用され、およそ2年間、地元の生活や復興を支えました。

中部技術事務所では、部材の健全性確認と架設技能の維持・伝承を目的として、毎年、構内で実架設を通して点検整備を実施しています。